



2学期始業式 校長講話

皆さんと会えることをとっても楽しみにしていました。1学期の終業式で「命はひとつ 事故はゼロ」とお話ししましたが、皆さんが元気に登校してくる姿を見てとてもうれしく思いました。

自分の時間割で過ごした夏休みはどうだったでしょうか。「早寝・早起き・朝ごはん」はできましたか。おうちのお手伝いに、挑戦してみたでしょうか。出掛けることはあまりできなかったでしょうが、きっと充実した楽しい夏休みだったと思います。

さあ、2学期が始まります。2学期は1学期や夏休みに育てた「南っ子の大松の根っこ」でしっかりと踏ん張って、幹を大きくして、葉っぱを繁らすときです。

今年はコロナウイルスの影響でたくさんの行事が、中止になったり小さくなったりしています。この始業式の話も、本当なら体育館でみなさんの顔を見ながら話すはずだったのですが、やむをえません。

2学期には体育発表会があります。6年生や5年生が楽しみにしている修学旅行や観音山宿泊訓練もあります。ただ、コロナウイルス次第でちょっとどうなっていくのかわかりません。

楽しみにしていた予定が変わって、がっかりしてつまらなさそうな態度をとったり、なんでもコロナウイルスのせいにしてたり。

そんなことでは、いけませんね。

皆さんが育ててきた南っ子の大松の根っこは、しっかりしているはずですよ。

根っこは、行き先に岩があったら突き抜けようとします。どうしても突き抜けられない固い岩があったら、向きを変えて伸びていきます。岩があったから伸びられなかったと、岩のせいにしてません。

今のように先がわからないときは、向きを変えても伸びていく柔軟性（やわらかさ）が大切です。これには、みんなで力を合わせる必要があります。そして、「日々を丁寧に過ごすこと」がとっても大事になります。

この2学期は、日頃の普通の授業や活動、普段見慣れた周りの人たちにしっかりと目を向けて向き合ってほしいと思います。

「さわやか挨拶、黙々そうじ、周りに感謝と思いやり」で、とってもすばらしい「自分の、自分たちの2学期、日々の日常で仲間と輝く2学期」を創り上げていってください。

日々を丁寧に過ごすこと

学校では、授業はもとより、登下校や朝の会、掃除の時間なども人間形成の大事な場ととらえています。将来、社会に出たときに役立つ資質・能力といえる、爽やかなあいさつや物事に真摯に取り組む姿勢（たとえばそうじ）、周りへの感謝の念などを身に付けられるよう、日々を丁寧に過ごすことを大切にさせていきたいと思っています。（校長 上野 明彦）